



Control Contractor Series  
Control 50 Series

# サブウーファー・サテライト・ スピーカーシステム 取扱説明書



## 対象製品型番

- Control 50S/T
- Control 52
- Control 50 Pack

このたびは、JBL PROFESSIONAL Control 50 Series サブウーファー・サテライト・スピーカーシステムをお買上げいただき、誠にありがとうございます。設置する前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。



## 目次

• 安全上のご注意.....	2
• はじめに .....	3
保証書について 付属品	
• 特長.....	3
• 設置方法 .....	4
• 接続方法 .....	6
• 仕様 .....	7

# 安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みにし、記載事項を守りください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 <b>警告</b>	この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

●スピーカー本体の不良以外で発生した事故や取扱説明書に記載されている事項を見逃して発生した事故、設置方法の不備による落下などの事故に対する責任は一切、弊社は負いかねますのでご了承ください。

## 警告

- ・スピーカーを水に入れたり、濡らさないでください。火災や感電の原因となります。
- ・取り付け工事は建築関連法に則り、技術と経験を持った専門業者が行ってください。
- ・平坦かつ厚さが均一で重量に耐えられる天井に取り付けてください。強度が不十分な場合には落下事故などの原因となります。取り付け場所の選定には十分注意し、補強作業を施して安全を確認した上で取り付けてください。
- ・スピーカー本体の「Safety Cable Attachment Point(安全ケーブル取付ポイント)」に設置状況に応じたワイヤーを通しておくなど、落下防止対策を十分施してください。
- ・振動する場所、油の付着しやすい場所、風呂・シャワー室など湿気の多い場所やほこりの多い場所には設置しないでください。金具の劣化による落下や火災の原因となります。
- ・可燃性ガスが発生する場所で使用しないでください。爆発し、火災やけがの原因となります。
- ・配線は正しく行ってください。誤配線によるショートなどは火災の原因となります。
- ・過大入力を加えないでください。火災の原因となり危険です。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・接続ケーブル類が傷んだら（芯線の露出、断線など）交換してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損したなどの異常があるときは、ただちにパワーアンプの電源を切って使用をやめ、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

## 注意

- ・万一、落としたり破損が生じた場合は、取り付けずに修理を依頼してください。そのまま取り付けると、火災や落下の原因となることがあります。
- ・付属品などの金属のエッジでけがをすることがあります。十分気をつけてください。
- ・配線はアンプの電源を切ってから行ってください。感電の原因となり危険です。
- ・ネジなどの固定部位の締め付けは確実に行ってください。部品の落下などでけがや器物破損の原因となります。
- ・パワーアンプの電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- ・長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- ・取り付け部が劣化すると、落下などの原因となります。定期的に点検をしてください。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

## はじめに

### \*取扱説明書(本書)をお読みください。

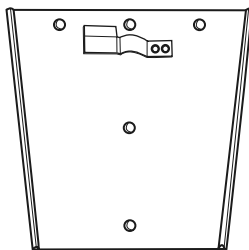
ご使用いただくまえに必ず本書をお読みください。内容をよくご理解された上で、正しくお使いください。

### \*保証書について

- 保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名/所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。お買い上げ日より2年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店までご依頼ください。
- お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名/所在地」が正しく記入されていない場合は、保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
- 改造など通常の使用範囲を超えた取り扱いによる、設計製造以外の要因で起きた故障や不都合は、期間内であっても保証の対象外となります。

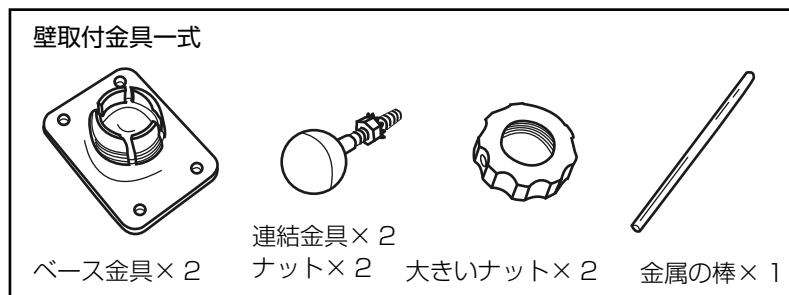
### \*付属品をご確認ください。

#### Control 50S/T の付属品



壁取付金具×1

#### Control 52 の付属品



#### Control 50 Pack の付属品

Control 50S/T 用

- ・Control 50S/T 用壁取付金具×1

Control 52 用

- ・Control 52 用壁取付金具一式  
(・ベース金具×4    ・連結金具×4    ・ナット×4    ・大きいナット×4    ・金属の棒×2)

## 特長

超小型のサテライトスピーカーとサブウーファーで構成されるサウンドシステム。高域と低域の役割を分けたことで、商業空間のビジュアルイメージを尊重しながらも高音質のサウンドを提供することが可能になりました。レストランやカフェ、ブティック、美容院などハイセンスな商業空間に最適です。

- サテライトスピーカーは、インテリアのイメージを損なわない超小型設計。
- 2本または4本のサテライトスピーカーとサブウーファーでシステムを構築します。忠実な音源再生能力を持ち、32Hzの低域から20kHzまでの高域にいたる広い帯域で豊かなサウンドを提供します。
- サテライトスピーカーとサブウーファーには壁取付金具が標準装備。サテライトスピーカーの壁取付金具は、全方向に45°までの角度を付けられるため、音を届けたいエリアを正確に狙うことができます。
- サブウーファーには、ハイインピーダンス接続が可能なトランスを搭載。トランスをバイパスしたローインピーダンス接続も可能です。
- Control 50 Series のシステムは、モノラル出力です。
- 天井埋込用スピーカーシステム「Control 40 Series」と互換性があり、様々な組み合わせが可能。多様な空間に対応できます。

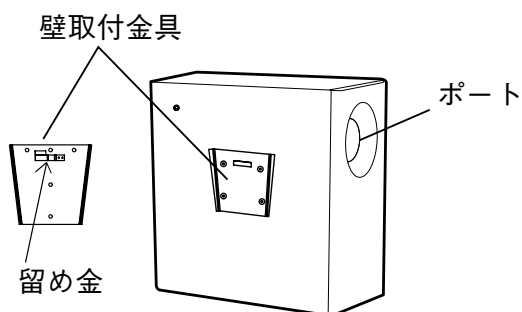
# 設置方法

## お願い

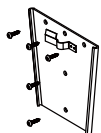
設置する壁の構造によっては、スピーカーからの出力によって壁が共振して音質を損ねてしまうことがあります。取り付けの際に十分な補強を行って、壁が共振しないようにしてください。

## Control 50S/T の設置

- 1) サブウーファー Control 50S/T には、あらかじめ壁取付金具の片方が取り付けられています。ネジでしっかりと固定されていることを確認してください。

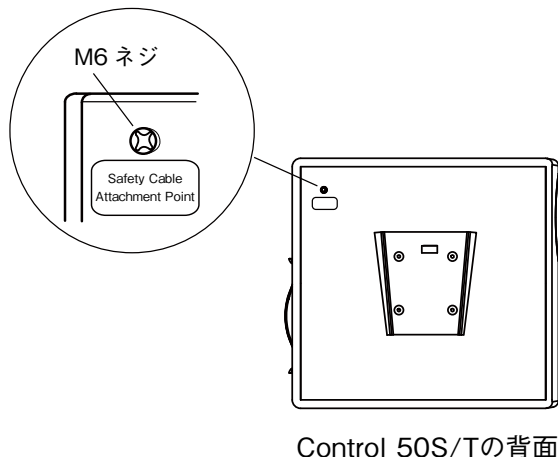


- 2) アンプから Control 50S/T を設置する場所へケーブルを引きます。Control 52 サテライトスピーカーへケーブルを接続し、Control 50S/T のところに引いておきます。



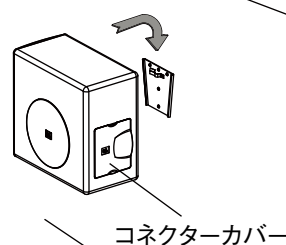
- 3) 水準器を使用して、壁に取付金具を固定します。安全のため5つの穴すべてを使用してください。

- 4) 万一の場合に備えて、Control 50S/T の背面にある「Safety Cable Attachment Point」に止めてある6mm ネジを使用して落下防止用のワイヤー（付属していません）を取り付けてください。ワイヤーのもう一方の端をスピーカーの荷重に耐えられる頑丈なポイントへ取り付けてください。



Control 50S/Tの背面

- 5) 図のように Control 50S/T を壁のほうへ向け、壁に取り付けた金具よりも少し高く持ち上げ、互いの金具がかみ合うように壁に押し付けるようにゆっくりと下ろします。壁に取り付けた金具の留め金が確実に Control 50S/T の金具に嵌まったことを確認してください。



- 6) コネクターカバーを取り、②で引いてきたケーブルを接続します（→P.6「接続の仕方」参照）。必要に応じて、ロータリースイッチでトランスタップを設定してください。カバーを閉じ、ケーブル引き出し口からケーブルを出します。

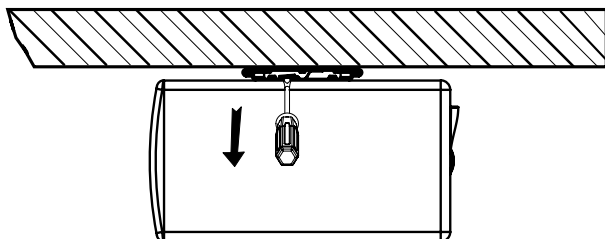
## ⚠ 注意：

- ※ 壁面取り付け用のネジ、ナット類は、設置面の素材によって選定する必要があるため、本体に付属していません。設置状況を考慮して、適切なものをご用意ください。
- ※ 壁で Control 50S/T のポートをふさがらないでください。最低でも 50cm の隙間をポートと壁に作るように調整してください。

## Point !

- 2つのサテライトスピーカーを使用する場合、サブウーファーを壁取付金具で壁の中央に設置すると適切なサウンドのバランスになります。
- Control 50 Pack など4つのサテライトスピーカーを使用する場合は、次の3つのパターンでサブウーファーの設置ができます。
  - 壁の中央：よい低音が得られます。
  - 壁 - 床、壁 - 壁の接合部：強い低音の提供が可能。
  - コーナー：最も強い低域を提供します。
- 全体のバランスを整えるために、トーンコンローラーや DSP のような外部イコライザーも利用できます。

## Control 50S/T をはずすとき



(上から見た図)

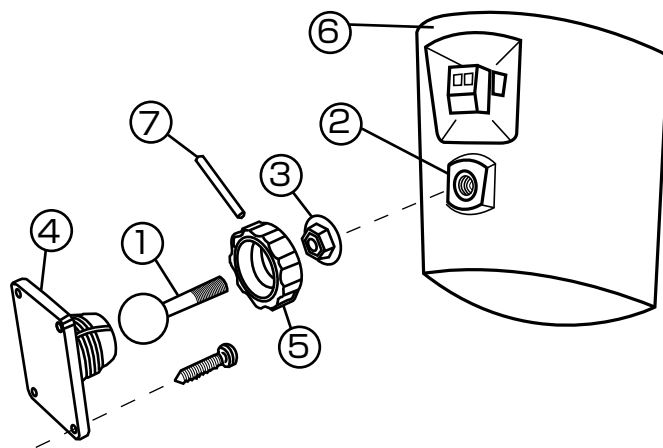
サブウーファー Control 50S/T を取り外す必要が出てきた場合は、長めのドライバーなどを上部から金具の留め金のところに差し込み、てこの原理を利用して壁の方に掛け金を押しつけます。掛け金に圧力を加えている間にサブウーファーを持ち上げて、金具から取り外します。

## Control 52 の設置

- 1) ナット(③)に通した連結金具(①)をキャビネット(⑥)にあるインサートポイント(②)に入れ、しっかりとねじ込みます。

※図のように、ナットは面積の広い方がスピーカー側になるようにしてください。

- 2) ナット(③)をレンチ等を用いてしっかりと締め付けます。ナット(③)を締めることで、連結金具(①)とキャビネット(⑥)を固定します。
- 3) ベース金具(④)を壁に取り付けます。壁は平坦かつ重量に耐えられることを確認し、その壁にあったネジを使用して固定してください。

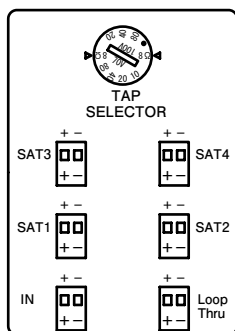


### ⚠ 注意 :

- ※ 強度や取り付けが不十分な場合、落下事故などの原因となります。取付場所の選定には十分注意し、補強作業を行った上で取り付けてください。
- ※ ネジは、本体に付属していません。設置面の材質などを考慮して、適切なものをご用意ください。

- 5) 樹脂製の大きいナット(⑤)を連結金具(①)に通します。
- 6) キャビネット(⑥)を両手で持ち、連結金具(①)のボール部分をベース金具(④)の受け口に押し込みます。
- 7) スピーカーの向きを整え、樹脂製の大きいナット(⑤)をベース金具(④)に取り付けます。確実に固定させるため、付属の金属の棒(⑦)を使って締め付けてください。  
※締め付けすぎるとナットが割れるおそれがありますので、ご注意ください。

# 接続方法



Control 50S/T  
コネクターパネル拡大図

## 【Control 50S/T】

Control 50S/Tには、「SAT1」～「SAT4」まで4つのアウトプットがあります。スピーカー内部で「SAT 1～4 +」と「Loop Thru +」は「IN+」に接続しており、「SAT 1～4 -」と「Loop Thru -」は「IN -」に接続しています。

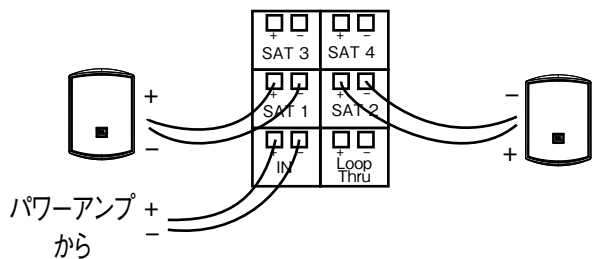
Control 52はControl 50S/Tと一緒に使用することにより、70V/100Vのハイ・インピーダンス仕様でも使用できます。ロー・インピーダンス仕様ではControl 52が2本のシステムで8Ω負荷、4本のシステムで4Ω負荷になります。

## ● Control 50S/T と Control 52C の接続

Control 50S/T サブウーファーは、Control 52 サテライトスピーカー用のクロスオーバーネットワークを内蔵しており、Control 50S/T 1本に対して2本または4本のControl 52に対応します。Control 52を4本使用するシステムは、2本使用するシステムに比べておよそ2倍のエリアをカバーします。低域の必要に応じてControl 50S/Tを増減させてください。

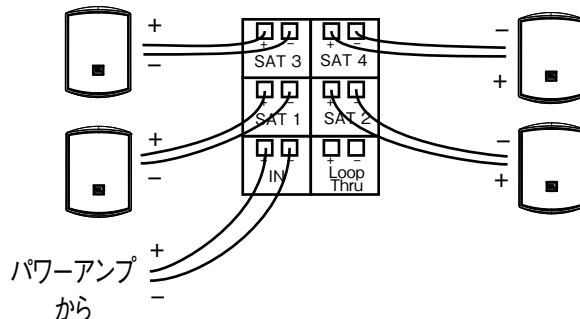
### ● Control 52 を 2本使用する場合。

1つ目は「SAT1」に接続し、2つ目は「SAT2」に接続します。「SAT3」と「SAT4」は使用しないでください。



### ● Control 52 を 4本使用する場合。

それぞれのスピーカーをアウトプットコネクターに接続します。1つ目は「SAT1」に、2つ目は「SAT2」に、3つ目は「SAT3」、4つ目は「SAT4」に接続します。



※天井埋め込み用 2-Way フルレンジ・スピーカーシステム Control 47C/T,LP,HC の3機種もControl 50S/Tとシステムを組むことができます。



## 注意

- Control 52は、140Hz以下の周波数をドライブすると損傷を受けます。Control 50S/Tに接続せずに、Control 52を使用する場合、JBL PROFESSIONALの天井埋込用サブウーファー「Control 40CS/T」やハイパスフィルター、クロスオーバー、DSP(140Hz、24dB/oct 推奨)などを使用して適切な信号にしてください。

# 仕様

## システム仕様 (Control 50S/T + Control 52)

	サテライトスピーカー 2本のシステム Control 50S/T × 1 + Control 52 × 2	サテライトスピーカー 4本のシステム Control 50S/T × 1 + Control 52 × 4
周波数レンジ (-10dB)	32Hz ~ 20kHz	32Hz ~ 20kHz
許容入力 (プログラム / ピンク) ※	200W/100W モノラル	200W/100W モノラル
感度 (2.83V, 1m)	85dB SPL サブウーファーは、壁の中央に設置	87dB SPL サブウーファーは、壁の中央に設置
最大音圧 (1m)	94dB SPL	94dB SPL
公称インピーダンス	8 Ω	4 Ω
トランス・タップ	100V 80W/40W/20W 70V 80W/40W/20W/10W	80W/40W/20W 80W/40W/20W/10W

※ IEC ピンクノイズ、クレストファクター 6dB、100 時間

## Control 50S/T (サブウーファー)

周波数レンジ (-10dB)	32Hz ~ 200Hz
許容入力 (プログラム / ピンク) ※	200W/100W
感度 (2.83V, 1m)	95dB SPL (コーナーの近く) 89dB SPL (壁の中央)
最大音圧 (1m)	115dB SPL (コーナーの近く) 109dB SPL (壁の中央)
公称インピーダンス	8 Ω
トランス・タップ	100V 80W/40W/20W 70V 80W/40W/20W/10W
ドライバー構成	LF:200mm
入力コネクター	ユーロブロックコネクター (2ピン × 6)
仕上げ	黒または白 (-WH)
寸法 (幅 × 高 × 奥行)	391 × 356 × 203mm
質量	9.0kg
付属品	壁取付金具

※ IEC ピンクノイズ、クレストファクター 6dB、100 時間

## Control 52 (サテライトスピーカー)

周波数レンジ (-10dB)	140Hz ~ 20kHz
許容入力 (プログラム / ピンク) ※	30W/15W
感度 (2.83V, 1m)	82dB SPL
最大音圧 (1m)	94dB SPL
カバレッジ角 (水平 × 垂直)	150° × 150°
公称インピーダンス	16 Ω
ドライバー構成	HF:60mm
入力コネクター	ユーロブロックコネクター (2ピン × 1)
仕上げ	黒または白 (-WH)
寸法 (幅 × 高 × 奥行)	84 × 115 × 96mm
質量	0.7kg
付属品	壁取付金具一式

※ IEC ピンクノイズ、クレストファクター 6dB、100 時間



- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- JBL PROFESSIONAL は A Harman International Company のブランドです。  
その他、この取扱説明書に掲載されている商品名、会社名等は各社の登録商標および商標です。

25/02

**HIBINO**

<https://www.hibino.co.jp/>  
E-mail: [marketing@hibino.co.jp](mailto:marketing@hibino.co.jp)

ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティング Div.

営業部  
〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70  
TEL: 03-5419-1550 FAX: 03-5419-1565

札幌オフィス  
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三條1-1-20  
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ブランチ  
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8  
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891

名古屋オフィス  
〒454-0811 愛知県名古屋市中川区三ツ池町2-20  
TEL: 052-355-6913 FAX: 052-414-6076

福岡ブランチ  
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6  
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509